

# 衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

H23.4.22 第177回国会第4号

4月22日（金）第4回の委員会が開かれました。

## 1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・中野国務大臣（拉致問題担当・国家公安委員会委員長）、園田内閣府大臣政務官、菊田外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 竹内 謙君（公明）

- ・拉致問題に関する情報収集活動は、予算面も含めどのようなものか。
- ・北朝鮮の国民に中東における民主化などの情報を伝えるべきであると考えますが、政府はどのように考えているのか。
- ・今後、政府は、北朝鮮との交渉をどのようなルートで行おうと考えているのか。

### 村上 史好君（民主）

- ・平成20年8月の日朝実務者協議で拉致被害者に関する再調査の合意がなされたにもかかわらず、現在まで拉致問題解決に向けての進展が見られない状況について、中野国務大臣の見解を伺いたい。また、進展しない原因はどこにあるのか。
- ・米国や韓国が北朝鮮との間で対話を始めた場合、日本にも対話を進める用意があるのか。
- ・拉致問題解決に向けて事態が進展していない中、正規の外交ルートとともに民間のルートや議員外交も必要だと思うが、それについて外務省の見解を伺いたい。

### 萩原 仁君（民主）

- ・特定失踪者問題調査会が調査した失踪者数と政府の認定している拉致被害者数には開きがあるが、日本政府が拉致被害者として認定する基準は何か。
- ・平成22年11月に決定された拉致対策本部長指示の8項目中の「拉致被害者家族等へのきめ細やかな対応」とは具体的にどのようなことか。また、政府の行っている「きめ細やかな対応」で拉致被害者家族は納得されていると

いう認識なのか。

- ・特定失踪者の調査を含め拉致問題の解決のためには現在の予算で充分なのか。

### 古屋 圭司君（自民）

- ・平成23年4月1日に、「人権教育・啓発に関する基本計画（平成14年3月15日閣議決定）」に新たな事項として「北朝鮮当局による拉致問題等」が加えられたが、具体的取組の在り方について、中野国務大臣の見解を伺いたい。
- ・対話を引き出すために北朝鮮に対し圧力を加え続けることの必要性について、中野国務大臣の見解を伺いたい。

### 竹本 直一君（自民）

- ・与野党一体となり北朝鮮に圧力をかけるために拉致問題についての超党派による意見交換の場を設けて欲しい。
- ・政府はこの4月に北朝鮮に対する制裁の延長を決定したが、国際社会に対して挑発を取り続ける北朝鮮に対し、更に制裁内容を追加するなど厳しい対応を取るべきではなかったか、中野国務大臣の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮における権力の移行が拉致問題解決に与える影響について、中野国務大臣の見解を伺いたい。

### 中島 隆利君（社民）

- ・高校実質無償化に関する朝鮮学校への適用手続きが凍結されており、これを早期に再開するべきだと考えるが、中野国務大臣の見解を伺いたい。
- ・日朝間で核・ミサイル問題について話し合うことができる状況を作り出すことが大事であるとする前原前外務大臣の発言（1月4日）について、政府はどのように評

値し、今後、どのように取り組んでいくのか。

**笠井 亮君（共産）**

- ・最近の南北対話の動きについて、政府はどのように捉えているのか。
- ・平成 20 年 8 月の日朝実務者協議における合意事項（拉致被害者に関する再調査）が実施されていないまま拉致問題解決に向けての進展はないが、事態打開に対する中野国務大臣の決意を伺いたい。